

☆はじめに

12 月月例報告書で最後の報告書となった。今月でついに留学もおしまい。本レポートでは、留学中にやってよかったこと、まだ頑張れたと感じたこと、留学前にしておけばよかったこと、日本に帰国してから継続して頑張りたいことなど、留学の総まとめのような内容になっている。

☆やってよかったこと

留学中やって良かったことはたくさんあるのだが、本レポートでは以下4点をあげる。

・日本語を勉強している学生との言語交換

私が言語交換をしていたのは、5月から日本語上級者の友人たちと共にお互い文章添削しあう週に一度の活動と、9月から日本語初級者の友人とお互いのテキストで分からない部分を質問しあう活動、以上の2つだ。

5月あたりから、週に一度参加していた言語交換会では日本語と中国語半分ずつくらい使用していた。前期は6人、後期は10人で活動していた。前期は台湾人の子が毎回テーマを準備してくれていたのだが、夏休みからは毎週週替わりでテーマを担当して単語集をつくっていた。以下は私が担当した際に作成した単語集（抜粋）。日本語初心者の参加者もいるのでひらがな表記もしてある。

旅行有関的單字

中文

年中行事 (nián zhōng xíng shì)
 特産 (tè chǎn)
 農産品 (nóng chǎn pǐn)
 傳統工藝品 (chuán tǒng gōng yì pǐn)
 特色 (tè sè)
 特點 (tè diǎn 對人使用?), 特徵 (tè zhēng 對可見的東西使用?)
 觀光地 (guān guāng dì)
 祭典 (jì diǎn)
 當地料理 (dāng dì liào lǐ), 道地美食 (dào dì měi shí), 在地美食 (zài dì měi shí)
 ○○年一次 (○○nián yī cì)
 攤子 (tān zi)
 土特産 (tǔ tè chǎn), 土特産禮物 (lǐ wù)
 吉祥物 (jí xiáng wù)
 拍攝地點 (pāi shè dì diǎn), 聖地 (shèng dì)
 避暑地 (bì shǔ dì), 避暑好去處 (bì shǔ hào qù chù)
 別墅 (bié shù)
 營 (yíng)
 帳篷 (zhàng peng)
 小木屋 (xiǎo mù wū)
 推薦的地方 (tuī jiàn de dì fāng)
 想去的的地方 (xiǎng qù de dì fāng)
 旅行公司 (lǚ xíng gōng sī)
 髮捲電棒 (fà juǎn diàn bàng)
 直髮捲燙器 (zhí fà juǎn tàng qì), 直髮夾 (zhí fà jiā), 造型夾 (zào xíng jiā)
 極端主義者 (jí duān zhǔ yì zhě)

旅行に関する単語

日本語

年間行事 (ねんかんぎょうじ)
 特産品 (とくさんひん)
 農産物 (のうさんぶつ)
 伝統工芸品 (でんとうこうげいひん)
 特色 (とくしょく)
 特徴 (とくちょう)
 觀光地 (かんこうち)
 お祭り (おまつり)、祭典 (さいてん)
 ご当地グルメ (ごとうちぐるめ)
 ○○年に一度 (○○ねんにいちど)
 屋台 (やたい)
 お土産 (おみやげ)
 マスコットキャラクター
 ロケ地 (ろけち)
 避暑地 (ひしょち)
 別荘 (べっそう)
 キャンプ
 テント
 コテージ
 おすすめの場所
 行きたい場所 (いきたいばしょ)
 旅行会社 (りょこうがいしゃ)
 コテ (髪の毛を巻くやつ)
 ヘアアイロン (髪をストレートにするやつ)
 ミニマリスト

普段中国語で授業を受けているため、中国語の説明だけでは理解できない文法事項や語彙の細かなニュアンスについて疑問が浮かぶことがあった。そういった普段生まれた疑問を週に1回深掘りして日本語で聞くことができる交流会は本当にありがたかった。また、毎週の作文を通して文法の間違いに気づくことができたり、より自然な表現をすることができたりしたのが非常によかった。また、お互い添削しあうので、台湾人の日本語作文を添削

する時間も、日本語の細かなニュアンスについて考えることができる大変貴重で興味深い時間だった。普段どれだけ自分が意識せずに日本語を使用しているのか気づくことができた。言語交換のメンバーたちには感謝してもしきれない。

2つ目の活動は、お互いにテキストの質問をしあう活動だ。文芸大にもあるように語学パートナーの制度で出会った師範大学で日本語を学んでいる生徒さんとお互いテキストで分からなかった部分について週に1回質問しあっていた。この方は日本語を話すことがまだ難しいとのことで、全て中国語でコミュニケーションをしていた。やはりここでも苦労したのは、日本語の細かなニュアンスの違い。特に、助詞は外国人学習者が苦労する部分のようで、私もなぜここには、「が」を使用して、ここでは「は」を使用するのか、とか、この「で」はどの意味で使われているのかという質問に対して、自分の日本語に関する知識のなさに加え、中国語でそれを説明しなければいけなかったのも、その点において苦労した。自分でも文法的になぜそうなるのか分からなかったときは、後日調べて教えるなどして解決していた。

これらの活動を通して気づいたことは日本語ネイティブが国語として習ってきた日本語と、外国人学習者が勉強する日本語は習い方が違うということ。これは、中国語にも共通していて、私が質問するときに、この字がここにくるのは、この文法が使用されているから？と聞いてもネイティブはピンときていないと感じる機会があったり、どうしてそんな規則まで知っているの？！と驚かれたこともあったりした。特にネイティブの習う文法と違うと感じた点は中国語の概念では動詞の一部の中に形容詞が入っていること。日本人からしたら違和感しかないが、中国語では形容詞が確かに動詞として使われていることも多い。ネイティブではない私からするとどのように見分けて使っているのか判断するのが未だに難しい。

・本科生の授業に参加すること

私は台湾人本科生向け授業を前期後期合わせて3つ取っていた。そのうち2つが英語開講、1つが中国語開講の授業であった。どれもついて行くのが大変な授業なのだが、圧倒的にネイティブと関わる機会が多く充実した時間であったし、挑戦してよかったと感じる。もちろん留学生向けに開講されている中国語学習の授業も他国の学生と共に学ぶことで各国の文化を学ぶことができるし、中国語に関する知識をつけることができる良い機会であったが、せっかく台湾で留学しているので、台湾の学生たちと接することができる本科生向けの授業に挑戦することを強くおすすめしたい。ついていけそうな授業をあらかじめシラバスで研究しておくこともおすすめ。本科生の授業について行くには、毎週の予習復習がかかせない。必死でついていった本科生の授業、最後のテストでA+を取れたのでとってもうれしかった。

・毎日新単語10個ノート

3月から続けていた、毎日新しい単語を10個調べて記録していた単語ノート。初期の自分は表現したい内容を表現するだけの語彙力がなかったので、留学が終わった今、初期の単語を見直してみると今では使いこなすことができている単語も当時は知らなかったのだなと感慨深くなる。留学後半では10個も単語が浮かばないことがあり、記録をつけることができなかつた日もあったが、知らなかった単語を1日の最後にふり返ることで語彙力があがったと感じる。日本にいてもできることなので今後も続けていきたいし、中国語を学習している文芸大生の方々にもおすすめしたい。

・台湾版 HSK、TOCFL の受験

実は11月に台湾版の中国語能力試験を受験した。なぜやってよかったことにあげたかという、台湾で受けた方がよい理由があるからだ。それは、2023年現在、台湾受験のみの制度であるパソコン受験。日本でも TOCFL を受けることはできるのだが、日本で受ける場合、3つのレベルに分かれている試験に自分のレベルがどの程度か予想して各級に申し込むしかない。しかし、台湾受験のみのパソコン受験ではコンピュータが受験者のレベルを自動的に判断し、問題を出題してくれるため、1回の受験で全ての級を受験することができる。そのため、本来なら一番上の BandC レベルの実力がある人が、台湾以外の受験会場で自分の実力を自己判断し BandB を受験し、BandB のみ合格という自体を避けることができる。パソコン受験をすることで、自分の判断では BandB の実力しかないと考えていた人が、一度の受験で BandC を獲得することもできるというわけだ。

ちなみに受験を考えている人がいれば、注意してほしいことがある。上記に挙げたとおり、台湾で受験することに利点があるため、台湾受験は大変人気である。特に、師範大学のある台北は激戦区なので、早いときには受験受付初日の午前中にすべての席が埋まってしまうことがある。友人の中には、台北の席がなくなってしまったので、台中や台南まで行って受験した人もいる。そのため、受験受付前日までに、手続きに必要な最初の登録事項などは埋めておくことをおすすめする。

・留学中の趣味

留学中の趣味。それは、6月から制作している思い出ノートの更新である。観光地に行くたびにパンフレットをいただいてきて、貼り付けたい部分を切り取って思い出ノートに記録した。そのほかにも、台北の地下鉄、通称捷運の駅の記念スタンプを集めた。この記念スタンプは毎駅においてあって、デザインもこっているので集め甲斐があるのだ。12月上旬にすべて集め終わった。9月終わりに1冊目を使い終わり、2冊目後半部分には留学でお世話になった皆さんからメッセージをいただいてちょうどノートを使い切ることができた。このノートに記録をする前までは、パンフレットをいただいてきても写真をさらっと見る程度で捨ててしまっていた。しかし、記録をつけることによって、パンフレットの中身までしっかり読む時間を作ることができるようになったため、ノート制作の時間が台湾につい

で知ることができる充実した時間になった。また、地下鉄のスタンプ集めも、駅ごとの街の特徴を知る機会になったし、スタンプ集めのおかげで台北中を巡ることができた。そのため、やってよかったと感じる。

台湾各地の思い出を記しているこのノートは私の一番のお土産だ。台湾パスポートをしたノートのデザインも気に入っている。



捷運の記念スタンプは路線ごとに色が違う。乗り換えできる駅は色が重なるため黒色のスタンプ。上の写真の赤色スタンプは淡水線のもの。他に緑、オレンジ、茶色、青色の線の駅にある。残念ながら、最近新しく開通した環状線はスタンプがない。ちなみに師範大学の最寄り駅古亭駅のスタンプには師範大学がデザインされている。

各駅のスタンプデザインはここからチェックできる↓

<https://www.metro.taipei/cp.aspx?n=A4C600A215B0B481>

☆まだ頑張れたこと

実は留学前に挙げていた台湾でやりたいことの1つに、台湾の小中学校ではどのような英語教育が行われていたのか調べるというものがあった。しかし、普段の授業の準備などが忙しく、実際に台湾の小中学校に見学に行くなどの行動を起こすことはできず、大学の図書館にて中学校で使用されている教科書を眺めるという程度しかすることができなかった。感覚的には、日本の英語教育とそう変わらないという印象を受けた。実際に見学したわけではないので、もっと積極的に動いて小中学校にお願いしにいき、研究できればよかった。以上がもう少し頑張れた点ではないかと感じている。

☆留学前にやっておけばよかったこと

- ・毎日10単語調べ
- ・リスニング能力の強化

留学に行く前も自分なりに中国語学習を頑張っているつもりであった。しかし、現地できざ中国語を話そうとすると、語彙力のなさに気づくこととなった。そこで、やってよかったことに挙げたように自分の表現したいことを普段から中国語で考え、単語を調べ記録する

など、留学前にも自分でできたことがあったので、毎日10単語は留学前からやっていたらよかったと感じている。

また、留学直後苦労したりスニング。単語を知っていなければそもそも聞き取れないわけだが、日本語と同じ漢字の語彙や、既に習っていて漢字を見ればわかるという語彙も実際に聞いてみると分からないことがあった。それは、普段中国語を読むときに、意味が分かる漢字は音声とセットで覚え、流し読みする癖がついていたことが挙げられる。日本人だと読解できてしまう漢字も音とセットで覚えるべきだったと感じる。

☆日本に帰国した今頑張りたいこと

・毎日10単語調べの継続 ・ネイティブとの関わりを途切れさせないこと ・検定への挑戦

毎日10単語調べは留学中本当に効果を感じたのでこれからも続けていきたいとおもっている。しかし、ネイティブとの関わりが圧倒的に減ってしまった帰国後の今、大事にしたいのはネイティブとの関わりを途切れさせないこと。ネイティブとのコミュニケーションを通して新しい語彙が手に入ることが多いので、自分から積極的にネイティブとのコミュニケーションを図っていきたいと考えている。

そして、自分の成長を図るためにも、留学後再度検定を受けてみる予定である。現状に満足せず、これからも努力を続けていきたい。

☆おわりに

留学のどの場面を切り取っても、自分の人生に大きな影響を与えてくれる場面ばかりであった。私が留学するにあたってたくさんの支援をしてくださった、教授方、教務学生室の職員の方々、師範大学の担当者様、家族、一緒に渡航した本学学生、学を共にした師範大学の学生たち、顔を覚えてくれていたチャーハン屋さんの老闆、朝ご飯屋さんの老闆など10ヶ月の間関わってくれた全ての人に感謝したいし、なにより、10ヶ月の間私を大きく成長させてくれた台湾に対して感謝の気持ちでいっぱいである。

これから台湾への留学を考えている人には、もし中国語力にあまり自信が無くても声を大にしておすすめしたい。努力も必要だが、確実に中国語力は伸びるし、異文化を感じながらの生活はこれからの人生において確実に貴重な体験になる。迷っている人がいたら教務学生室などを通して私に直接質問しにきていただいても大丈夫だし、説明会に参加したり、教授に話を聞いてみたりするだけでもしてみしてほしい。

最後に私の月例報告書を読んでくださっていた皆様。私の留学を見守ってくださってありがとうございました。皆様にとって私の月例報告書が少しでも役にたっていましたら幸いです。

我感謝大家的照顧。我一定不會忘記這十個月的貴重回憶！我愛台灣。我愛在台灣見面的朋友們。我是一定回去台灣找你們的！再見。